## 最終レポート問題冊

## 注意事項:

- 1. Word で作成し、電子データを提出すること。
- 2. 提出先 ztempest0218@gmail.com 必ず大学のメールアドレスより提出すること。 件名に、「学籍番号+氏名+期末レポート」を必ず記入すること。
- 3. 提出期限 2017/08/3 17:00 まで。修正不可。
- 4. 他人のものをコピーすることなど不正な行為については,単位不許可の上、大学の条例より厳しく処分すること。
- 5. 成績について 出席や課題 40% 最終レポート 60%
- 6. 提出されたデータを返却できない。各自保存してください。

- 1 - 2017/07/24

問題 1 期末レポート.docx を作ってください。ヘッダーには、氏名、学籍番号を記入すること。フッターはページ数を挿入すること。(5点)

問題2 1ページ目に、手元の本を参考し、目次を作成しなさい。内容自由。行数3行以上。 参考となった書名を引用文献として記入しなさい。参考文献のリストは word ファイルの最 後につけてください。(10点)

## 答例:

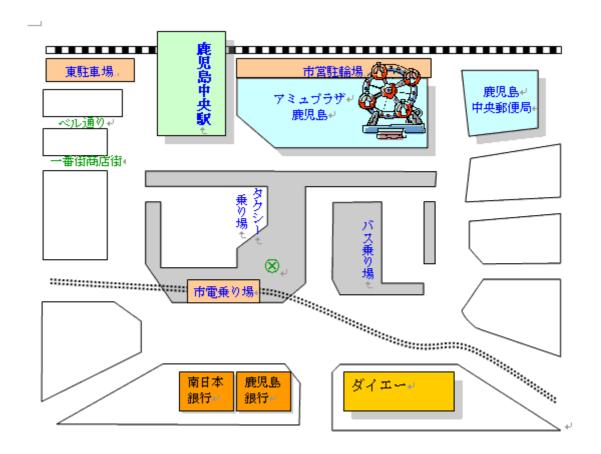
## 目次

第1章	事象と確立	··· 2
第2章	確立変数と確立分布	…10
第3章	確立分布の代表的モデル	···26
第4章	2 次元確立ベクトルの分布	…49
第5章	多変量確立ベクトルの分布	66

問題3 2ページ目に、ワードの作表機能で履歴表を作りなさい。デザインが自由、基本的に以下の項目を含むこと:日付け、氏名、誕生日、年齢、性別、住所、連絡先、学歴欄、職歴欄。個人情報は入力しないでください。(10点) 見本:

履歴書	<b>F</b> ∓s	\$00#C	оодоо	В						
ふりがな										
B/S							-			
										本本
干点	#	Я	8 (	34 9	D .	推升	用・	女		
ふりがな								$\overline{}$		
現位所	Ψ -									
TEL			×=11/						排棄	
年	Я				7	屋なら	月に職悪			
	$\Box$									
#	Я					姿勢・	特技			
	$\rightarrow$									
	$\vdash$									
	$\vdash$									
	$\vdash$									
	$\vdash$									
	$\vdash$									
	$\rightarrow$								_	
	$\vdash$									
	$\perp$									
		_	記得者	50%	T 0.14	-		動物質		交通機関
) 技術	276									

問題4 3ページ目に、ワード作図機能でこの地図を作りなさい。デザイン自由。採点ポイント:正確性、見た目の良さ。(20点)



問題5 4ページ目に、次の数式を入力しなさい。数式は中央にして、数式の右側に、数式番号を振りなさい。数式番号は手入力しないこと。(20点、ただし、ひとつの数式は2点、合計12点。数式番号を振るのが8点。数式番号を手入力した場合、1点のみ。)

例:

$$x > 0 \mathcal{O} \geq \tilde{z} x^{\frac{a}{b}} = \sqrt[b]{a} \tag{1}$$

問題6 5ページ目に、以下の Excel 関数についての質問を答えなさい。(20点)

(1)IF 関数を使て、点数で成績評価しなさい。B2のセルに記入すべき数式を記述してください。(60未満は不可、60以上70未満は可、70以上80未満は良、80以上90未満は優、90以上は秀。)

	Α	В
1	点数	成績評価
2	80	
3	72	
4	66	
5	97	
6	55	
7	86	
8	77	
9	90	
10	62	
11	69	

(2)RANQ.EQ 関数を使って、順位をつけてください。B2 セルに記入すべき数式を記述してください。

Α	В
点数	順位
80	<u> </u>
72	
66	
97	
55	
86	
77	
90	
62	
69	
	点数 80 72 66 97 55 86 77 90 62

問題7 6ページ目に、以下の論文をネットで検索し、その要約・Abstract を入力してください。3つの論文を参考文献リストに入れてください。(15点)

- (1)樋口美雄, 佐藤一磨.(2015). 雇用・賃金統計に見る先進各国共通な流れと 日本の特異性. 三田商学研究, 58(1), 15-36
- (2)Light, A., & Omori, Y. (2012). Fixed effects maximum likelihood estimation of a flexibly parametric proportional hazard model with an application to job exits, Economics Letters, 116(2), 236-239

(3)

(4)Light, A., & Omori, Y. (2004). Unemployment Insurance and Job Quits. Journal of Labor Economics, 22(1), 159-188.

最後のページに、引用文献のリストを作ってください。